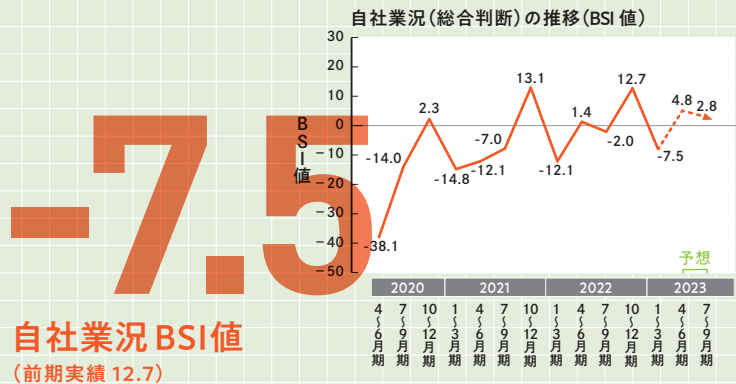
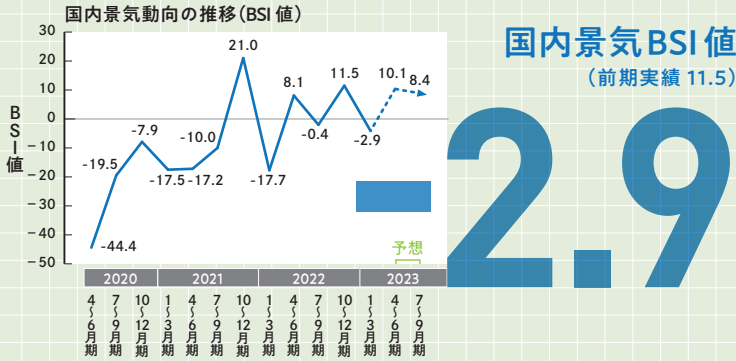


1 概要

今期の国内景気BSI値は▲2.9(前期実績11.5)と幾分下降した。コロナ感染者数は減少し、全国旅行支援やインバウンド等の観光需要もあって人流は増加傾向にあるものの、原材料・エネルギー価格の高騰や需要不足の影響が続く業種を中心にやや下降した。今後の予想については、コロナ対策の緩和による経済活動の正常化や5月の大型連休等観光需要への期待感から、2023年4～6月期は10.1とプラスに転じ、7～9月期は8.4と、上昇基調で推移する見通し。



今期の自社業況BSI値は▲7.5(前期実績12.7)と下降した。すべての業種で自社の商品・請負価格が上昇する一方で、経常利益は減少が続く等、コスト増に対する価格転嫁の遅れが目立った。また、需要拡大に伴う人手不足や人件費負担の増加といった問題も重なり、売上高や利益を押し下げる要因となっている。今後の予想については、経済活動の正常化や観光需要の回復等の期待感もあり、4～6月期は4.8、7～9月期は2.8と持ち直しが続くものの、国内需要の本格的な回復への不透明感やコスト増等の懸念材料もあり、やや慎重な見通しとなっている。

2 BSI値の総括表

(注) 1～3月期のBSI値は、2022年10月～12月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

		実績		予想	
		2022年10～12月期	2023年1～3月期	2023年4～6月期	2023年7～9月期
京都企業の経営動向	国内景気動向	11.5	▲2.9	10.1	8.4
	自社業況(総合判断)	12.7	▲7.5	4.8	2.8
	1. 生産・売上高、工事施工高	16.4	▲6.7	4.9	3.0
	2. 製・商品・サービス・請負価格	17.4	12.0	14.5	11.9
	3. 経常利益	6.5	▲11.1	0.3	▲2.6
	4. 所定外労働時間	11.3	▲2.3	0.9	▲0.6
	5. 製・商品在庫	5.8	4.8	3.8	2.5
6. 資金繰り	▲1.7	▲3.3	▲1.5	▲1.5	

(注) BSI値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

実績

2023
1-3月期



京都企業の

BSI値

Business survey index

コスト増に対する価格転嫁難等もあり、国内景気・自社業況ともにマイナスに

予想

国内景気

原材料・エネルギー価格の高騰や需要不足が足かせとなりBSI値はややマイナスに

自社業況

価格転嫁の遅れや人手不足等が重なり、BSI値はマイナス

経済活動の正常化や5月の大型連休等観光需要への期待感からプラスに

自社業況

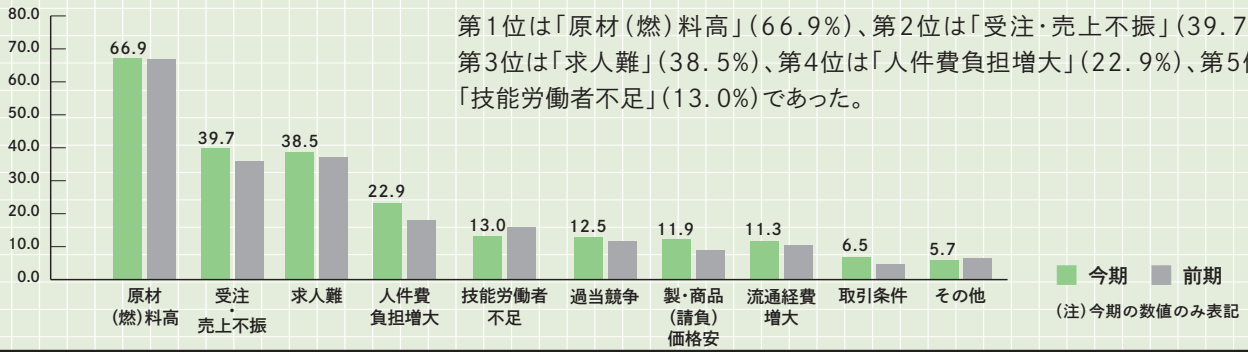
観光需要等による回復への期待感もあるものの、コスト増等の懸念もありやや慎重な見通し

POINT

規模別の業況

国内景気、自社業況BSI値は、今期、大企業・中小企業ともに下降。自社業況は来期以降、ともに上昇基調で推移するものの、7～9月期にかけては中小企業の上昇テンポに遅れが目立つ見通し

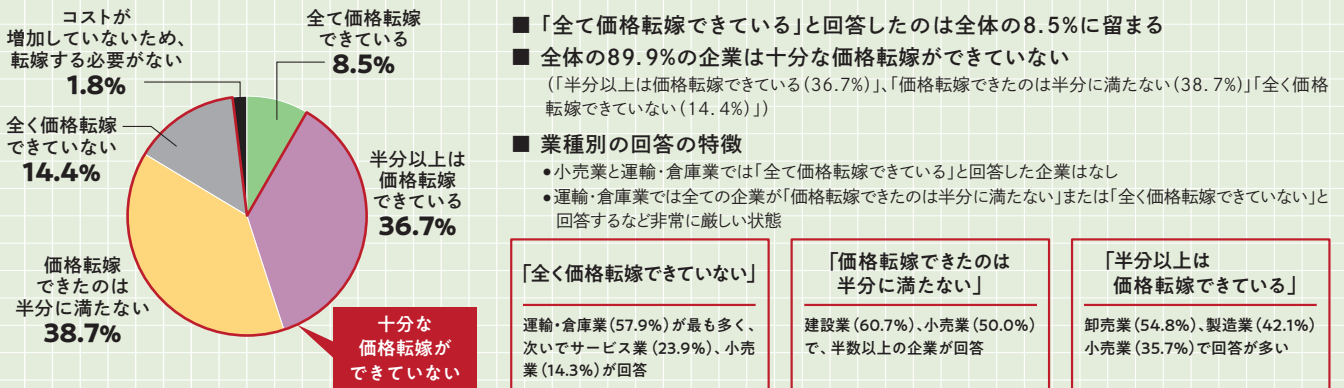
3 当面の経営上の問題点



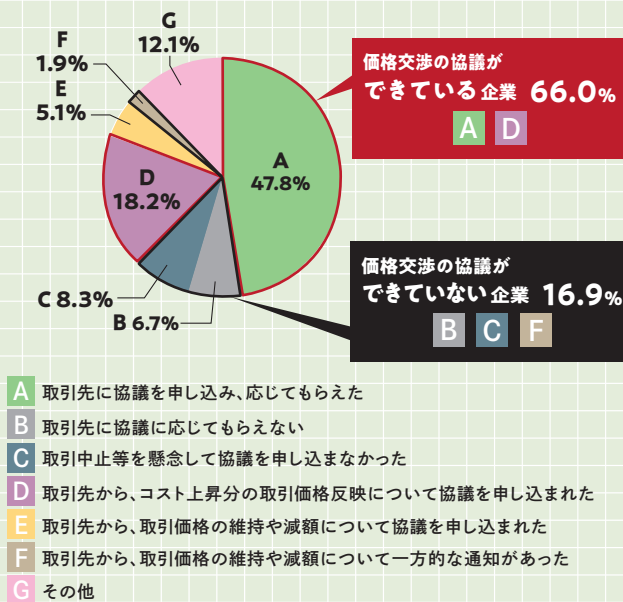
4 附帯調査 -ピックアップポイント-

価格転嫁について ▶ 多くの企業が十分な価格転嫁ができていないと回答
 ~ 競合他社との価格競争や消費者の節約・低価格志向が課題 ~

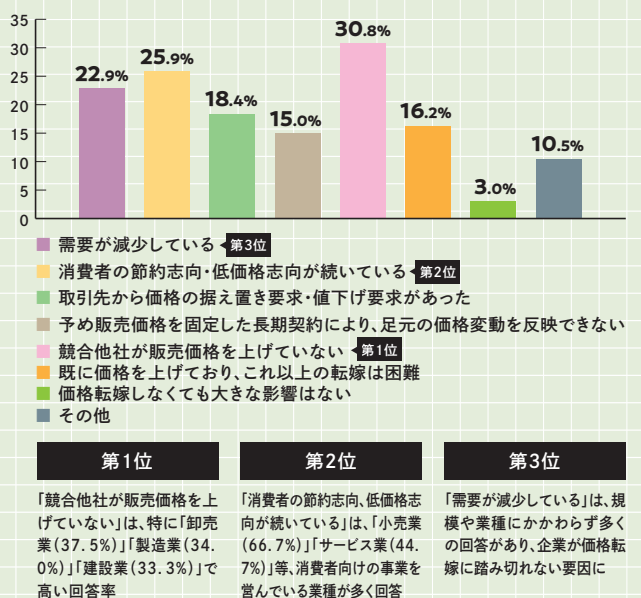
1 自社におけるコスト増加分の価格転嫁について



2 取引先との価格交渉の協議について



3 価格転嫁できない要因 <複数回答>



京都企業のBSI値：2月下旬から3月上旬にかけて同調査を実施し、509社中353社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。

【お問い合わせ】 中小企業支援部 ☎ 075-341-9780 調査結果概要は本所ホームページからダウンロードできます。 [京都商工会議所 BSI値 検索](#)